

2 目標達成計画

事業所名：グループホーム ゆいっこ

作成日：令和6年12月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2	コロナ5類以降、面会制限はだいぶ緩和されましたが、コロナ発症は増加しており、地域との交流や慰問等がほとんど行われていない現状にある。	地域の方の慰問、保育園や小中学生との交流ができるように取り組んでいきたい。	マスク着用、一定の距離を保ち、換気を行い、直接接触がない状態での慰問や交流を図る。	12 か月
2	18	利用者の認知機能の低下や状態低下により、掃除や調理など出来る利用者が限られている。	一人一人に役割を持ってもらい、日頃の生活の中に生きがいをもって生活していただく。	個々の出来る事の支援内容を、申し送りノート等で共有し実施していく。	6 か月
3	49	天気を見ながら外気浴を行っているが、個別外出が出来ていない状態にある。	利用者の希望に応じ、月一回以上は外出できるよう調整を図る。	月に一回以上、フリーで対応できる勤務を設け、その日を個別外出の日として対応を行う。または、ご家族様に協力を得て、ご家族様と共に過ごす時間を設ける。	12 か月
4	36	利用者対応の際、行動の制限をしてしまうような声掛けをしてしまっている。	認知症について理解し、人としての尊厳を大切にした対応を行う。	内部研修や外部研修に参加し、認知症についての理解を深め、その方にとってどのような声掛けが必要なのかを、職員間で意見交換する機会を設ける。	12 か月
5	13	新人職員を指導できる職員が少ない。	新人職員への指導方法について、全職員が理解し、指導できるようにする。	新人職員への指導方法についてのマニュアルを作成し、指導できる職員を養成する。	12 か月
6	35	年2回避難訓練を行っているが、夜間想定や地域との協力、参加が行えていない。	地域協力隊との連携参加や、夜間火災想定避難誘導の実施。	避難経路の確保や、地域協力隊への呼びかけ、法人内と合同の避難訓練の実施。	12 か月